

## 第4章 西武池袋線

### 第1節 飯能～小手指

飯能(10:50)～本加治(11:50)～仏子(12:20)～入間市(13:25)～稲荷山公園(14:10)～武蔵藤沢(15:20)～狭山ヶ丘(15:40)～小手指(16:25)

2004年11月3日(水)の文化の日、西武池袋線に挑戦する。本日は朝曇であったが、徐々に晴れとなり終始小春日和となった。朝6時半に起床し、セブンの散歩を済ませ、8時半家内に南林間まで送ってもらう。新宿から池袋駅(9時50分)に出て、西武池袋線で飯能駅(10時42分)に向かう。西武秩父線の踏破の際と異なる経路をとった。鉄道沿線の土地事情を把握するためである。本日は航空自衛隊入間基地で航空祭があった関係で、所沢駅辺りから子供連れの客が沢山乗車して来る。稲荷山公園駅でどっさり降りる。窓からの風景と地図から点検した限り、本日は西武新宿線に沿った幹線道路がないため、相当骨が折れることが予感された。中でも入間川と入間基地がネックになりそうであった。



※飯能駅

本日は飯能駅南口からの挑戦となる。時計は10時50分であった。駅前でAPSフィルムを購入する。何か忘れたような気がしたが、大切な万歩計だった。駅前で記録しようとしたときなかったので気がついた。鎌倉駅からのときと同じである。あの時は薬屋で購入したが、本日は過去のデータから類推できるので、万歩計の購入は敢えてしなかった。11時10分踏切近くで特急電車の上下がすれ違う。11時15分加治幼稚園通過。本日は終始幹線道路は通らず、住宅街を主として通る。JR線八高線にぶつかるまで行き止まりに何回も遭遇し、11時半頃やっと到達する。JR線に沿って100m位南に歩いた先に通路があった。



※元加治駅、仏子駅

元加治駅には11時50分着く。それから入間川の土手に沿って歩く。入間市の公共施設として、西武公民館、西武小学校それから西武中央保育所があった。西武小学校校庭では紅葉となった木々も見かけた。入間川を渡りしばらく歩くと山の裾野にある仏子（ぶし）駅には12時20分に着く。入間駅の手前の「いずみ」という蕎麦屋で12時45分休息。店には飛び込みのために当たり外れがある。本日入った店は、蕎麦のゆでが不十分のうえ、混ぜご飯も具が十分に混ざっておらずお客に出す品物としては配慮がなく外れに該当する。13時25分、西武日本一の看板がホームで目立つ入間市駅を通過する。



※入間市駅、航空祭

入間市駅から900m先の稲荷山公園までに45分費やす。入間市駅から坂を下りたのが失敗だった。途中、入間航空祭の一番いい場面に出くわす。飛行機の空中ショーを身近に堪能することができた。階段を通り、稲荷山公園に入るや否や航空祭を見終えた人ごみと出くわす。沿道には店が沢山出ていた。非常に遠回りして稲荷山公園駅に14時10分着く。



※稲荷山公園、稲荷山公園駅

もう少しで西武新宿線の狭山駅の方に進むところだった。地図を確認して何とか難を逃れる。稲荷山公園駅に到達したものの、西武池袋線に沿った道がなかった。守衛さんに聞いたところ、入間基地の中を歩いて行くのが近道とのことで通してもらった。沢山の観客が私と同じ方向に進んでいた。入間基地は広大であった。司令部通りという名称もあった。入間基地を出た先に豊岡中学校があった。遠回りして武蔵藤沢駅には15時20分に着く。この駅からほぼ鉄道をつたい歩きした先に狭山ヶ丘駅（15時40分）があった。この駅は中々賑やかな駅であった。この駅から少し行った先に愛宕神社があった。



※武蔵藤沢駅、狭山ヶ丘駅

この駅から小手指（こてさし）駅までが丘の障害物があり何度も袋小路にぶつかる。途中、国立病院（西埼玉中央）を16時5分通過。この病院の守衛さんに道に迷いそうになったので聞く。小手指駅までまだ遠そうな回答であった。小手指車庫があった。16時25分、やっとのことで小手指駅に到着する。自宅には池袋経由で帰る。自宅には19時となる。本日の営業距離は14.3Km（万歩計は35,000歩とする）であった。



※小手指駅

## 第2節 小手指～石神井公園

小手指(9:45)～西所沢(10:25)～所沢(11:05)～秋津(12:40)～清瀬(13:25)～東久留米(14:05)～ひばりが丘(14:20)～保谷(15:22)～大泉学園～石神井公園(16:37)

第133回のウォーキングは、2004年11月13日(土)晴れの中実施。今年初めて木枯らしが吹く中、朝愛犬セブンの散歩を済ませ、南林間7時59分の電車で小手指駅に向かう。池袋9時11分の西武秩父行き(快速)にうまく接続でき、小手指には9時45分前に到着することができた。また、運良く小手指駅は快速停車駅であった。本日は、住宅街を通り鉄道をつたい歩きする。秋津駅・清瀬駅それから東久留米駅近郊には武蔵野線踏破の際来たことがあり、以前通った道の経路を思い出しながらの歩きとなった。また、保谷駅や大泉学園駅も以前来たことがあり同様な思いで歩いた。



※西所沢駅

住宅街をつたい歩きした関係で、袋小路に何回も遭遇する。9時45分小手指駅を出て、西所沢駅には10時25分到着。途中、花栽培の試験場があった。色とりどりの花がたくさん咲いていた。また、所沢駅には11時5分に到着。



※所沢駅東口、秋津神社

本日は西武新宿線の踏破の時と逆で南口から西口の方向から所沢駅に入場する。前回でややこしいことを学習済みのため、駅前で慎重になり秋津方向を模索する。しかし、これからの進路が読めず南口の付近で自転車を整理している係員に聞いてみる。「東口に出た方が分かりやすいですよ。」とアドバイスをもらい東口に移動する。駅前には清瀬駅行きのバスがあった。しかし、手探りで直進する。太陽を見て方向性を見定める。鉄道に近づくよう鋭意努力する。通行人の2名に聞く。でも、思うような回答が来なく、踏み切りで電車をみて自分の正しいことを確認する。ほっとする。12時柳瀬川を通過。その先に秋津神社・JR新秋津駅（武蔵野線）があった。新秋津駅の駅は地上にあったが、ホームはB1に線路は地下鉄であった。西武池袋線の秋津駅は新秋津駅から歩いて5分位先にあった。100名位の客が交互の駅に向かっていった。秋津駅の途中、12時15分になっていたのので、魚がしの看板を見かけたので入る。秋刀魚定食を注文する。魚三昧で酒を飲むのに良さそうな店であった。秋津駅（南口）には12時40分到着。後で考えると、秋津駅で秋刀魚とは粋な組み合わせとなった。



※秋津駅、清瀬駅

武蔵野線で通った記憶のある道(ただし逆方向)を通り、清瀬駅には13時25分到着。この駅も見覚えがあった。途中、清瀬中央公園や清瀬市立中央図書館があった。黒目川の上にかかった弁天堀橋を13時55分通過。案内板を良く見ると、黒目川(川幅10m位)は途中で分岐し、その間に東久留米駅(14時5分)があった。この駅も懐かしかった。北口の駅前の路地に不要になったぬいぐるみ等を1個50円で売っている店があった。セブンのお土産に購入も考えたが荷物になることから見送る。東口は個人まわりとした北口にくらべ立派な駅であった。東口中央公園の先に2度めの黒目川があった。共立橋(14時15分)から鴨7羽と赤色の鯉が数匹泳いでいるのを見かける。一句浮かぶ。

「黒目川 師走のにおい 鴨鯉よ」



※東久留米駅、ひばりが丘駅

ひばりが丘には14時20分到着。駅は工事中であった。ひばりが丘駅以降、鉄道の左側を歩く。住吉町通りに都立保谷高校(15時5分)があった。練馬区の先に保谷駅があった。五階建てのビルの1Fに保谷駅南口(15時22分)があった。松殿橋(まつどの)を通り、大泉学園駅には16時に着く。



※保谷駅、大泉学園駅

ここで打ち上げも考えたが、当初の目標通り、1.9Km先の石神井公園駅を目指すこととする。保谷駅や大泉学園駅には十数年前に来たことがあるが、残念ながら忘却していた。16時10分西武線に沿って都立太泉高校があった。本日の目標の石神井公園駅には16時37分到着。辺りは薄暗くなっていた。16時48分の急行で自宅に向かう。本日の営業距離は18.8Km、万歩計は調整が悪いのか1万歩位少なめの32,887歩だった。



※石神井公園駅

### 第3節 石神井公園～池袋

石神井公園(11:28)～練馬高野台(11:48)～富士見台(12:13)～中村橋(12:40)～練馬(13:05)～桜台(13:17)～江古田(13:45)～東長崎(14:06)～椎名町(14:29)～池袋(15:12)

西武池袋線の総仕上げは、11月20日(土)小春日和の中実施。本日は、6年前に他界した弟の法事で家内が帰香している関係で、朝夕愛犬セブンの散歩をさせる必要があった。それから、私の弟の法事に合わせて、偶然にもテレビ朝日で石原慎太郎氏原作の「弟」が5夜連続(水曜日から明日日曜日まで)で放映されており、47歳の若さで亡くなった弟を思い出す機会をダブルで得ることができた。都知事と放送局に感謝の気持ちで一杯である。南林間10時2分の電車で池袋に行き、11時12分の西武球場行きの快速電車で石神井公園まで向かう。石神井公園には11時28分に着く。

地図で見る限り、池袋までの道は花道に思えた。実際にもそうであった。環八通を渡ると練馬高野台駅(11時48分)だった。この駅から江古田駅手前まで鉄道が高架されていた。それに伴い西武池袋線に沿った道があった。薬師堂橋に11時45分に着く。橋から見える光景は紅葉も重なり絵でも描きたくなるような光景であった。鉄道に沿った商店街は師走の様相を漂わせつつあった。12時13分にスタンドグラスに富士山のような

な模様をデッサンした富士見台駅に着く。駅前で松屋を見かけたので入る。久しぶりに牛飯を頼張る。



※練馬高野台駅、富士見台駅

富士見台駅から桜並木が続く千川通りを歩く。小春日和の陽気で風景をゆっくり楽しみながらの歩きとなる。中村橋に12時40分到着。目白通りぶつかる豊玉六丁目交差点に12時58分通過。その先に練馬駅(13時5分)があった。この駅前のたくさんの堤灯がある弁天通商店街が印象的であった。また、数年前に踏破したことのある大江戸線の練馬駅があった。桜台駅には13時17分通過。少し行った先に練馬教育委員会から「清戸道と千川上水」について説明をした掲示板があった。道路の向こう側にたくさんの木々の校庭をもつ名門武蔵高校・武蔵中学校それから武蔵大学があった。私が歩く側に武蔵野稲荷神社があった。



※中村橋駅

江古田駅には13時45分到着。この駅辺りから鉄道が高架式から通常の線路に戻る。東長崎駅には14時6分であった。万歩計は朝調整した結果、私の予想した通り18,983歩と正確な歩数をカウントしていた。武蔵野線と同様、東長崎それから武蔵藤沢・武蔵

大和と名称の由来が比較的わかりやすい駅名が多かった。もう少し地名に縁のある駅名をつけて欲しいのだが。椎名町には 14 時 29 分に着く。この駅は池袋駅の隣接駅にもかかわらず活気がなかった。



※練馬駅、桜台駅



※江古田駅、東長崎駅

豊島区目白図書館には 14 時 36 分通過。立派な建物があるので近づいてみたところ、「財団法人徳川黎明館」があった。銀杏が紅葉で半分位落ち葉となっていた。住宅街を歩いているうちに目白通りに出たのでこのままでは JR 目白駅に行くと思い、進路を左よりに変更する。山手線と埼京線にぶつかり地図で池袋駅を確認する。はじめて西武池袋線が山手線をまたがって山手線内に入るのを発見する。面白いことに、西武鉄道の池袋駅が東口にあり、東武鉄道が西口にあった。逆であればわかりやすいのであるが。15 時 4 分開かずの踏み切りと思える長崎道踏切を通過。少し歩いた先に西武池袋線の終着池袋駅南口があった。15 時 12 分の到着であった。町田で買い物をした関係で自宅には 17 時 50 分に着く。本日の営業距離は 10.6Km、万歩計は 31,054 歩だった。

このシリーズ、西武秩父＝西武池袋間は営業距離で 76.8Km しかないのにもかかわらず、5 日の日数を要した。夏時期であれば 3 日でクリアできたかも知れない。でも、

ゆっくり風景を堪能できよかった。西武秩父線・西武池袋線は戦略的に面白いコースであった他、手打ち蕎麦も食べたし、航空祭にも巡り合えたし、秩父、保谷、大泉学園といった懐かしい駅と対面でき有意義なウォーキングであった。



※椎名駅



※池袋駅